

eラーニングシステムの現状と 短大教育への導入可能性について

e-Learning - Its Present State and Introduction Possibility to Junior College Education

柴 田 徹
Toru Shibata

序 論

第1章 eラーニングシステムの現状

1. ICT 普及の実態
2. eラーニングシステムの導入状況
3. eラーニングシステムの沿革
4. eラーニングシステムの特許状況（技術進歩の経緯）

第2章 短大学生を取り巻く状況

1. アンケート調査の報告
2. アンケート調査の分析

第3章 短大教育とeラーニングシステムの課題と今後の取り組み

1. 導入における課題
2. 運用における課題
3. 今後の取り組み

結 論

序 論

eラーニングシステムは、コンピュータを用いた学習や教育を支援する情報システムであり、1990年代にその言葉が出現したとされている。Windows95やWindows98が発売された1995年や1998年頃から、通信インフラの高速化・低価格化が進み、パーソナルコンピュータ（以降、パソコンと略す）の高性能化・低価格化・操作性向上が実現した。このような結果、急激にパソコンの普及率が上昇した2000年が日本の「eラーニング元年」と言われている。

「eラーニング元年」から約10年が経過し、情報システム開発メーカー、人材教育を実践する企業、大学等では積極的にeラーニングシステムへの取り組みが行われている。eラーニングに関する各メ